

光触媒の「内側」と「外側」

この度は寄稿の機会を頂き、大変光栄に存じます。簡単な自己紹介とともに、最近挑戦している内容についてご紹介します。

私は堂免一成先生の研究室で修士～博士課程学生としてお世話になりました。しかしその期間、堂免研に所属しながら王道の「水分解用光触媒」はほとんどやっておらず、非水系湿式太陽電池(久保田純先生)や光電気化学的な有機ハイドライド生成(嶺岸耕先生)など、堂免研の“水分解以外担当”でやらせて頂いておりました。・・・